

評価基準 5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1、教育理念・目的等	評価
1-1 理念・目的・養成・人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 理念に基づいて教育を行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1 について) 本校の理念は、学生の暮らしと学びにできる限り寄り添い、教師と学生がともに学ぶことと定めている。目的は学生の日本語能力を高め、日本の社会や文化に対する理解を深め、国際的視野を広め、専門学校・大学などへ進学してより高度な専門的人材をすることである。(2 について) 担任教員が担当学生の暮らしと学びを常に注意深く観察し、学生一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導をすることである。また、日本語によるスピーチコンテストや演劇会などを実施することによって日本語の実践的な運用能力を高めること、及び金沢ならではの伝統文化を理解し体験することである。(3 について) 優れた日本語教育機関を目指して日々発展し、教職員が学生とともに学び続ける姿勢を保ち続けること。すなわち、全ての学生に信頼され、さらに多くの留学生から選ばれるような学校になることである。(4 について) 教職員全員が日常から理念を共有し合い、常にその理念に基づいた教育を行っている。</p>

2、学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能が確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処理・職場処理の改善に関する制度は完備しているか	5
2-5 情報システム化による業務の効率化が図られているか	2
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上される機能が整備されているか	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	5
2-8 施設・整備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1・2 について) 運営方針や事業計画は設置者及びその役員会と校長・主任講師とで定期的に現状を分析・協議しながら定めており、定めたものをすべての教職員に周知し、教職員全員がその方針にもとづいた教育を実践している。(3 について) 運営組織や意思決定機能は確立されていて、安定した運営が行われていて効率的である。(4 について) 本校内の人事や賃金での処理・職場処理の改善に関する制度は完備している。(5 について) 開校当初より学生管理システムを導入したが、システムに不備が見られるため活用しておらず、資金的な余裕が生まれれば新たな学生管理システムを導入したい。(6 について) 学校運営は外部評価者によって定期的に評価され、その評価を維持向上の基準としている。(7 について) 危機管理体制は設置者、校長、事務長の三者で構成され、校長が最終責任者として対応する。(8 について) 施設・整備は校長と事務長とで教育上妥当かどうか学生の安全が確保されているかどうか定期的に点検し、問題があれば直ちに改善している。</p>

3、教職員	評価
3-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めているか	5

3-2 教職員の教育力、支援力強化のための研修等を実施するとともに、他機関の実施する研修会等への参加を促している。	5
3-3 教職員評価を適切に行っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1 について) それぞれの教職員の職務内容は明確に定められており、その内容に応じて効果的に職務を実践している。また、教職員は常勤率が高く少人数であり、かつその関係が密接で友好的なので、とてもスムーズなコミュニケーションが行われている。(2 について) 校内では、教育指導案の共有や授業公開が頻繁に行われており、授業改善やより良い指導のための意見交換が忌憚なく実施されている。また、他の日本語学校と連携したり地域の国際交流センターや日本語教育プログラムを備えた大学と研修のための連携を取ったりして研修会等への参加を促している。(3 について) 日頃の教育活動、公開授業、個人面談などによって評価の基準にしている。学期末には学生・教師によるアンケート調査を実施し教職員評価のための参考にしている。

4、教育活動	評価
4-1 理念、教育目標に会致したコースを設定し、カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2 授業開始前までに学習者の日本語能力を判定し、適切なクラス編成を行っているか	5
4-3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置しているか	5
4-4 授業記録等を備え、実施した授業を正確に記録しているか	5
4-5 理解度、到達度の測定を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学習者に伝えているか	5
4-6 教員評価を含む教育活動の評価を定期的に行っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1 について) 理念、教育目標に合致したカリキュラムを体系的に編成し、それに合わせた授業や指導をしている。(2 について) 授業開始前までに口頭と筆記による日本語能力プレースメントテストを実施し、その結果をもとに適切にクラス編成を行い、学生の日本語能力に応じた授業をしている。(3 について) 校長と主任講師が教員の能力を適切に見極め、その経験等も勘案し、教員の能力や経験に応じて適切に配置している。(4 について) 全ての授業の内容・課題・学生の様子などについて実施した授業を正確に記録し、教員間で情報共有している。(5 について) テキストの課毎の振り返りのための測定を実施し、その結果を的確に学習者に伝えている。また、学期ごとに定期的な測定を行い、その結果をもとに評価を行い、担任教員が面談時に学習者に伝え指導している。(6 について) 教員評価及び授業や教育活動の評価を定期的に行っている。

5、学生支援	評価
5-1 日本社会を理解し、適応するための取組を行っているか	5
5-2 学生相談、進路指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生心身の健康管理・自己・傷害のサポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 入管法上（入国・在留関係）の留意点の指導、伝達を定期的に行われているか	5
5-6 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか	5
5-7 常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1 について) 担任教員がホームルーム時に主にケーススタディ形式で行っている。(2 について) 本校は担任制を実施し、担任教員が学生と定期的に面接を行い学生からの相談に対応している。相談内容が切実な場合や進路の指導については担任教員とともに校長・主任教員も対応している。(3 について) 学生心身の健康管理・自己・傷害の

サポートについては毎日、担任教員が学生の様子を直接しっかり観察しサポートを行っている。また、状況が重大な場合、担任教員とともに校長・主任教員も加わって対応し最善のサポートをしている。(4について) 学生寮等、学生の生活環境について専ら担当する職員を配置して 24 時間体制で支援している。(5について) 定期的に正確に行っている。(6について) 担任教員がホームルーム時に入管法上(入国・在留関係)の留意点の指導、伝達を定期的に行っている。(7について) 担任教員が毎日、学生に対応し常に最新の学生情報を把握している。また、学生情報を定期的に開く教職員会議で報告しあい、問題を共有し指導に役立てている。

6、入学者の募集・選考・納付金	評価
6-1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を掲示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うように努めている。	5
6-2 海外の募集代理人の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか	5
6-3 入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認しているか	5
6-4 入学者の選考当たっては、学校関係者(職員等)が面接等を行うように努めているか	5
6-5 学費の納付の金額、納付期間、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記しているか	5
6-6 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開しているか	5
6-7 上記 6-5、6-6 については入学志願者、在籍者及び経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1について) 学校紹介ホームページや入学案内パンフレットなどで教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を掲示している。また、これらは日本語・中国語で行っている。(2について) 海外の募集代理人は単なる留学生派遣業務を営んでいるだけでなく、しっかり日本語教育機関を運営している既知の方で、適切な募集活動を行っている。また、本校を運営する株式会社翔泰がネパールにて日本語教育機関を運営しており、適切な学生募集活動と教育を行っている。(3について) 入学希望者には、日本語での入学志願書の記入を課している。また、勉強意欲と学習能力、日本語能力等については海外の募集代理人からの意見書に基づいて判断している。日本語の能力を示す試験の結果や経費支弁能力は、証明書のコピーなどの根拠資料で確認している。(4について) 入学者の選考に当たっては、可能な限り現地に赴き学校関係者(職員等)が筆記・口頭試験をしている。なお、それが不可能な場合は、SNSの方法で遠隔面接を行っている。(5について) 学費の納付の金額、納付期間、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用はすべて募集要項等に明記している。(6について) 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開している。(7について) 上記 6-5、6-6 については入学志願者、在籍者及び経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。

7、財務	評価
7-1 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	5
7-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
7-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

(1について) 中長期的に学校の財務基盤は安定している。(2について) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。(3について) 適正な会計監査が行われている。

8、教育施設	評価
--------	----

8-1 教室は十分な照度があり換気がなされているか、語学教育に必要な遮音がなされているか	5
8-2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めているか	5
8-3 法令上必要な設備等を備えているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1 について) すべての教室は 500 ルクス以上の照度がある。また、定期的に教室の窓を開けしっかりと換気をしている。さらに、語学教育を行う上で十分な遮音をしている。(2 について) 20 名収容できる教室 2 つと 5 名ほどが自習できる小教室 1 つを自習室として確保している。なお、これにもエアコンが設置されているし、照度・遮音も確保されている。(3 について) 保健室・図書室など、法令上必要な設備等は備えている。</p>

9、安全・危機管理	評価
9-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか	5
9-2 感染症発生時の措置を定めているか	5
9-3 気象警報発令時措置、災害時の避難方法を定め、職員及び学生に周知しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1 について) 学生全員が国民健康保険に加入している。また、同様に学生全員が学生保険にも加入している。</p> <p>(2 について) 感染症発生時には、担任教員および担当職員が連絡を取り合い、対象学生をただちに隔離しすみやかに医療機関での検査や治療が受けられるような体制を取っている。(3 について) 学校や寮で避難訓練を実施している。また、気象警報発令時、特に警報等が発令された場合、校長と主任教員が協議した上で、校長が臨時休校や休業を決定し、line を使用して職員及び学生にただちに周知し、安全確保に努めている。</p>
--

10、法令などの遵守	評価
10-1 法令遵守に関する担当者を定めているか	5
10-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか	5
10-3 個人情報保護のための対策をとっているか	5
10-4 地方出入国在留管理局、関連省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1 について) 地域の警察署（金沢東警察署）の警察官から「交通安全指導」「防犯指導」「法令遵守指導」を毎年受けている。なおこの際、新入生対象の場合は母国語の通訳も用意している。この責任者は校長である。(2 について) 定期的実施している教職員会議で、個々の学生の生活・学習に関する問題の共有や協議をしながら、コンプライアンスの意識を高めている。(3 について) 担任教員が学生の出身・生活・成績状況に関する個人情報の保護を完全に実施している。また、それを校長が定期的に確認している。(4 について) 地方出入国在留管理局、関連省庁への定期報告は、当然のこととして完全に遅延なく実施している。</p>

11、社会貢献	評価
11-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
11-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<p>(1 について) 本校は学校設立からようやく 3 年目をむかえたばかりで、正直なところまだ社会貢献をするほどの余裕はないが、今後は地域の人々に学生の出身国の文化・習慣を紹介する機会を作ったり、校内で開催する「日本語スピーチコンテスト」に招待したりして地域の人々の国際理解を促進するような社会貢献をする計画がある。(2 について) 2024 年 1 月に発生した能登地震復興に携わるボランティア来県者の受け入れ宿泊施設の清掃などのお手伝いをした。また、学生寮付近の清掃活動に積極的に取り組むように奨励・支援している。</p>
--

